

第 2 回 推進委員会以降の進ちょく状況について

1 第 2 回大東大須賀区域認定こども園化推進委員会

- (1) 開催日 平成 28 年 1 月 27 日 (水)
- (2) 出席者 委員 15 名 (5 名欠席)
- (3) 内 容
  - ① 第 1 回推進委員会以降の進ちょく状況について
  - ② 大東大須賀区域認定こども園化の素案について
- (4) 主な意見

- ① ワークショップで出た疑問は、これまでの掛川市の幼保園の取り組みでかなりの部分が回答できると思う。  
大東大須賀の認定こども園化に関しては、誰がどのような園を作り、どういう教育を行っていくかというビジョンを示せば、市民の不安が解消すると思う。これをどんどん進めていくべき。
- ② 園が再編されていくという実感がまだ市民にない。  
まず、再編をやるということを市民に広く周知すべき。できれば小さい単位で説明会を行ってほしい。  
また、場所やスケジュール、定員の案なども早く市から案を示してもらいたい。再編の時期が示されると、議論が進むと思うし、市民も注目すると思う。
- ③ 市民も、情報が少なく知らないことが多いと不安になる。説明の機会を作り丁寧な説明を心がけて欲しい。
- ④ 5 園にするか、4 園にするかをまず決めて進みたい。
- ⑤ 運営主体についても協議したい。

2 広報かけがわへの記事掲載 平成 28 年 2 月号

## 大東・大須賀区域で幼保再編の動き

市民ワークショップ開催で保護者らが意見交換

☎ 子育て政策課  
(☎21-1211)

大東・大須賀区域の幼稚園・保育園の再編や認定こども園化について保護者らの意見を聞く市民ワークショップが12月13日、両区域で開催され、約60人が参加しました。

両区域では幼稚園の定員割れ、保育園の定員不足、施設の老朽化などが課題。11月9日に開かれた幼保再編を協議する「大東大須賀区域認定こども園化推進委員会」の初会で、市が現13園を民営の5つの認定こども園にする素案を提示したことから、再編検討について市民の目線から意



▲大須賀会場のワークショップの様子

11月9日に提示した再編後の素案

	現在	再編後
大東	大坂幼稚園	(仮称) 大坂認定こども園
	陸浜幼稚園	
	大坂保育園	(仮称) 干浜認定こども園
	干浜幼稚園	
	干浜保育園	
大須賀	土方幼稚園	(仮称) 城東認定こども園
	依東幼稚園	
	中 幼稚園	(仮称) 横須賀認定こども園
	城東保育園	
	横須賀幼稚園	
	よこすか保育園	
	大洲幼稚園	
おおぶち保育園		

見を出してもらおうと参加者を募りました。

保護者らは、「年齢の違う園児同士や地域住民との交流はどうなるのか」「民営化は何か変わるのか」「保育時間や保育料はどうなるのか」など、期待や疑問などの意見を申し合いました。

幼保再編は、両区域とも合併前から検討されてきた課題のひとつ。5園化の素案をもとに協議を重ね、来年度前半までに具体的な園の敷などを定めた再編実施計画を策定する予定です。

認定こども園化推進委員会で再編5園化の案

### 3 検討状況パンフレットの作成、配布

- (1) 配布時期平成28年2月中旬～下旬
- (2) 配布物 別添参考資料のとおり
- (3) 配布先

- ①大東大須賀区域幼稚園保育園の保護者  
園を通じてすべての保護者へ配布 約1,000部
- ②掛川区域の幼稚園・保育園・幼保園  
園長会などを通じ、各園へ1部ずつ配布
- ③子育て支援センター、つどいの広場  
連絡会を通じ、各施設へ1部ずつ配布。わいわいランド（千浜保育園）、  
はじめのいっぽ（おおぶち保育園）へは、来場者分も配布。
- ④市ホームページへ掲載

### 4 区長会連合会理事会への報告

- (1) 開催日 平成28年3月7日（月）
- (2) 内 容 区長会連合会理事会において、大東大須賀区域認定こども園化推進委員会やワークショップの開催状況について報告